

神協連ニュース

No.458 2019年9月6日

横浜市港北区新横浜2丁目6番地13
 新横浜ステーションビル9階 〒222-0033
 TEL 045-473-1031(代表)
 FAX 045-473-9272
 Email:kccf@qf7.so-net.ne.jp
 http://www.coopkana.jp

かながわCo-ネット 2019年「夏休み地引網体験」 交流行事



県内協同組合の理解と交流促進のため、国際協同組合年の2012年から始まった協同組合体験・交流。今年も8回目となる地引網体験を通じた交流を藤沢市鵠沼海岸で開催しました。

この企画は、地引網体験や地引網で捕れた地元の魚についての学習や、ビーチクリーン活動を通じて神奈川の自然の豊かさを体験から学び、環境を大切にする活動へ関心を高める機会ともしています。台風による影響も心配されましたが、当日は波も比較的穏やかで天気にも恵まれ、あじ、いわし、かます、さば、しらす等が大漁でした。ふだん魚に触れることのない子どもたちは網にかかった魚を触り、葉山一郎藤沢市漁協組合長の説明に目を輝かせて聞いていました。

JAさがみからは、地元野菜と冷えたトマトときゅうりが提供され、子どもたちは大喜びでした。更にビーチクリーンに参加した参加者にはユーコープよりおみやげも用意され、楽しい夏休みのスタートとなりました。

- 日 時 / 2019年7月26日(金) 10:00~13:00
- 会 場 / 藤沢市鵠沼海岸
- 参加者 / 257名
- 実施団体 / 神奈川県漁業協同組合連合会、藤沢市漁業協同組合
- 協 力 / 網元・堀川網、さがみ農業協同組合(JAさがみ)、ユーコープ
- 内 容 /

主催者挨拶：

鵜飼 俊行 神奈川県漁業協同組合連合会代表理事専務

神奈川県漁業について学習：

葉山 一郎 藤沢市漁業協同組合代表理事組合長

捕れた魚の学習と、地引網の体験にバーベキューを通じて協同組合交流、ビーチクリーン活動



「今、世界で何が起きているのか」～グローバル化の波から、暮らしと公共、地域を守る～ かながわCo-ネット学習会

神奈川県協同組合連絡協議会(かながわCo-ネット)は、県内の協同組合をはじめ、非営利・協同の理念を共有する組織が地域で交流・連帯をすすめています。この度、市民社会に大きな影響を及ぼすTPP11及び日EUのEPAの発効等に見るグローバル化の本質についての理解を深め、地域に根ざし持続可能な社会を希求する協同組合として、世界で起きている様々な事象にどう向き合うのか、地域社会の課題にどう取り組むのかを考えるための学習会を開催しました。

- 日 時 / 2019年7月30日(火) 13:30~15:30
- 会 場 / JAグループ神奈川ビル 2階 講堂
- 主 催 / 神奈川県協同組合連絡協議会(かながわCo-ネット)
- 次 第 / 開会挨拶：長嶋 喜満 神奈川県農業協同組合中央会 会長
 講 演：「今、世界で何が起きているのか」
 内田 聖子さん NPO法人アジア太平洋資料センター共同代表
 閉会挨拶：當具 伸一 神奈川県生活協同組合連合会 会長理事
- 参加者 / 30団体 59名



2019ヒロシマ・ナガサキ平和スタディツアー

現地で平和の大切さを学びました。

平和スタディツアーは、組合員の核兵器廃絶と平和への願いを広島・長崎に届けるとともに、参加者一人ひとりが現地でしか得ることのできない体験を心に刻み、命の尊さと平和の大切さを考え、多くの方々に伝え、平和を願う思いをつなげていくことを目的としています。

7月13日に事前学習会&結団式を行い、8月24日の報告会では、現地で学んだことや活動を共有しました。送り出して頂いた皆さま、運営に関わった皆さまありがとうございます。

▶ ヒロシマ子ども平和スタディツアー

■ 期 間／2019年8月4日(日)～8月6日(火)

■ 参 加／54名(子どもたち33名:ユーコープ、パルシステム神奈川ゆめコープ、生活クラブ生協、富士フィルム生協、やまゆり生協より公募)
 スタッフ21名:若者ボランティア6名、生協15名(ユーコープ、パルシステム神奈川ゆめコープ、生活クラブ生協、富士フィルム生協、やまゆり生協、川崎医療生協、神奈川県生協連)
 川崎医療生協からは看護師を派遣して頂きました。

▶ ナガサキ平和スタディツアー

■ 期 間／2019年8月7日(水)～8月9日(金)

■ 参 加／里見 里奈 ユーコープ理事
 河瀬 亜希 パルシステム神奈川ゆめコープ理事



2019原爆と人間展

より多くの県民に原爆の恐ろしさ、非人道性を伝え、核兵器廃絶・被爆者支援の輪を広げるために、今年も「原爆と人間展」を開催しました。今年はアニメ上映や絵本など「こどもコーナー」の充実をはかり、クイズラリーには376人の参加がありました。

■ 日 時／2019年8月23日(金)～26日(月)

■ 会 場／新都市プラザ

■ 主 催／「2019原爆と人間展」運営委員会
 (神奈川県原爆被災者の会、神奈川県建設労働組合連合会、原水爆禁止神奈川県協議会ほか7生協)

■ 来場者／10,500名

■ 内 容／被災者が描いた絵、原爆遺品の展示、原爆ドーム模型展示、親子でクイズラリー、こどもコーナー(原爆アニメ上映/平和のメッセージ&折鶴コーナー)、原爆被災者の被爆体験ミニ証言会、ヒバクシャ国際署名、NPT再検討会議展示

多くの方々に支えられ
今年も開催しました





神奈川まるごと健康づくり

健康はみんなの願い。神奈川の生協では、神奈川まるごと健康づくりに取り組んでいます。年に一度は検診を受診し、結果を受けて改善の目標を作り、実践し、また翌年、検診を受診するという「健康のサイクルに取り組む」ことは健康づくりの土台です。「健康チェック」「健康チャレンジ」をこのサイクルの中で役立てていきます。

健康チェック

- 日時／2019年8月25日(日) 12:00～15:00
- 会場／ユーコープ東戸塚駅前店
横浜市戸塚区川上町87店長:清水 誠
- 測定項目／体重、BMI、体脂肪率、筋肉量、体内水分量、基礎代謝、血圧、ストレス・リラクセス度、血管年齢、握力、足指力、呼気圧(会場により)
- 健康チェックの参加者／58名
新規30名(男8名(41歳～92歳)、女22名(45歳～84歳)、再28名(男13名、女15名)、
- 測定者／神奈川まるごと健康づくり・健康づくりリーダー養成講座修了者:10名



健康チャレンジ

- 取り組み期間／
10月1日～11月30日のうち30日以上できたら、達成賞をプレゼントします。どなたでも参加できます。
普段できていない8つの健康習慣に取り組み、良い健康習慣が身に付くきっかけとします。



健康チャレンジウェブ版のQRコードです。
9月25日から登録できます。

第12回かながわ食育フェスタ

楽しく食べて未病改善
～食育で広がる笑いの輪～

「食」「運動」「社会参加」を通じて、より健康な状態となることを目指す「未病改善」の取組みを推進するとともに、かながわらしい食育を進めるため、食育に係る講演会等を実施し、県民の食育への理解や意識の向上を図るというねらいで、かながわ食育フェスタが開催されました。神奈川県消団連は食育・未病改善展示ゾーンに、コンシューマーズかながわ、ユーコープ、パルシステム神奈川ゆめコープ、神奈川県生協連、(公社)フードバンクかながわの皆さまを取りまとめて、食品ロスの削減と地域の「たすけあい」「支え合い」「分かち合い」、相互扶助の社会づくりを願い、参加しました。フードドライブのご協力も頂くことができました。



- 日時／2019年7月30日(火) 10:00～16:00
- 会場／そごう横浜店 9階 新都市ホール他
- 主催／神奈川県
- 協賛／神奈川・食育をすすめる会
- 後援／関東農政局、横浜市

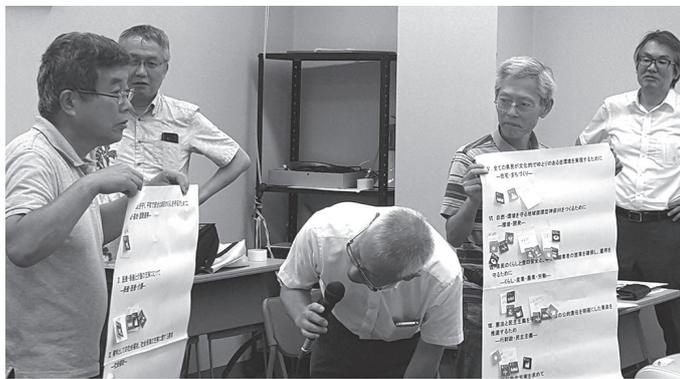
SDGs研修会

県民要求を実現する連絡会 第38回夏季討論集会以開催

県民要求を実現する連絡会の第38回夏季討論集会以、SDGsの学習のお手伝いをしました。県生協連として11回目(うち会員生協外は5回目)のSDGs研修支援です。

日本でも、経済最優先社会がもたらすひずみは、格差貧困をさらに広げ、平和をも脅かしています。今こそ協働する力で持続可能な社会を築くために、共感を広げ、参加を増やし、くらしや地域から発信していくことが大切です。

私たちが生活の中で問題を発見し、仲間と一緒に考え、つなかりをひろげて行動を起こせば、社会は変えることができます。



- 日時 / 2019年8月10日(土) 10:40~11:40
- 会場 / 神商連会館 4階
- 講師 / 石田 昌美 神奈川県生協連統括マネージャー

(公財)横浜勤労福祉協会で開催 ~私たちのSDGs(持続可能な開発目標)~

神奈川県生協連では、会員生協等のSDGs(持続可能な開発目標)研修支援を行っています。横浜勤労福祉協会・医療技術者研修は、医療介護分野に限らないテーマで、社会課題に対応する視点を学ぶことを目的として開催されてきました。

誰一人取り残さないためには、私たち一人ひとりにとっても他人事にはなりません。



- 日時 / 2019年8月3日(土) 14:00~17:00
- 会場 / 汐田総合病院 会議室
- 主催 / (公財)横浜勤労福祉協会技術者委員会
- 対象 / 医療介護事業所に勤める医療技術者 37名
(管理栄養士、臨床検査技師、診療放射線技師、リハビリテーション、ソーシャルワーカー、歯科事務、薬剤師)
- 講師 / 石田 昌美 神奈川県生協連 統括マネージャー
- 参加者 / 41名((公財)横浜勤労福祉協会、神奈川県生協連)

2019年度生協強化月間スタート集会

10月・11月は医療福祉生協の「生協強化月間」です。この時期の生協強化月間は、生協法が10月1日に施行されたことに由来します。生協強化月間は、生協を語り、広く市民に生協を知っていただき、多くの新しい組合員を迎え入れることで生協の基盤を強化する「助け合い支え合いの社会を広げる集中期間」として全国の生協で取り組まれているものです。

医療福祉生協の事業所は地域の人々、働く人たちが知恵を出し、出資してつくられた地域住民のための医療機関です。組合員一人ひとりの参加と協力の力によって、今日の医療福祉生協はつくられました。医療福祉生協への共感を広げ、組合員を増やすことは、医療福祉生協を支え強めます。

- 日時 / 2019年8月30日(金) 13:30~15:30
スタート集会終了後、合同ブロック会議、
ブロック会議を開催(16:45 終了)
- 会場 / 相模大野
ユニコムプラザさがみはらセミナールーム2
- 主催 / 神奈川県
- 参加者 / 85名

- 内容 /
挨拶 : 中屋 重勝 神奈川県北中央医療生協 理事長
講演 : 「生協でなぜ組合員を増やすのか」
石田 昌美 神奈川県生協連 統括マネージャー
事例報告 : 「どのようにして組合員を増やしたか」
生協強化月間方針の説明 :
菅沼 二十生 神奈川県北中央医療生協 理事

